

階級値

度数分布表で、階級の中央の値のことを、その階級の階級値という。

次は、階級値の例である。

- 階級「45kg 以上 50kg 未満」の階級値
 - 階級の幅を求めて、 $50 - 45 = 5$ (kg)
 - 階級の幅の半分を求めて、 $5 \div 2 = 2.5$ (kg)
 - 階級値は、 $45 + 2.5 = 47.5$ (kg)
 - 次のように求めてもよい。 $\frac{45 + 50}{2} = 47.5$ (kg)
- 階級「160cm 以上 170cm 未満」の階級値
 - 階級の幅を求めて、 $170 - 160 = 10$ (cm)
 - 階級の幅の半分を求めて、 $10 \div 2 = 5$ (cm)
 - 階級値は、 $160 + 5 = 165$ (cm)
 - 次のように求めてもよい。 $\frac{160 + 170}{2} = 165$ (cm)

度数分布表から代表値を求めるときは、階級値を使う。

- 平均値.....各階級に入っている資料の値は、すべてその階級の階級値であるとみなして計算する。
- 最頻値（モード）.....最も度数の多い階級の階級値を最頻値とする。